

ビスフェノールAの評価書骨子（案）

要約

I. 評価対象物質の概要

1. 名称・分子式・分子量・構造式、
2. 物理化学的特性、
3. 製造・輸入量、
4. 用途、
5. 各国の規制、
6. 環境中への排出量、
7. ヒトに対する暴露量の推定

II. 安全性に係る知見の概要

1. 体内動態
 - (1) 吸収、
 - (2) 分布、
 - (3) 代謝、
 - (4) 排泄
2. ヒトにおける有害影響
3. 動物実験等における有害影響
 - (1) 急性毒性試験
 - (2) 亜急性毒性試験
 - (3) 慢性毒性試験
 - (4) 内分泌系及び生殖系への影響
 - a. 生殖発生毒性
 - b. 発達毒性
 - c. 神経毒性
 - (5) 遺伝毒性試験
 - (6) 発がん性試験
 - (7) 免疫毒性試験

III. 国際機関等での評価

IV. 食品健康影響評価

1. 有害性の確認
(BPAの有害性：内分泌系及び生殖系への毒性影響が重要)
2. 用量・反応評価（ヒトへの影響を視野に）
 - a. 試験結果の重み付け（生殖発生毒性等の評価の視点）
 - b. 生殖発生毒性
 - c. 発達毒性
 - d. 神経毒性
3. 結論
(ヒトの体内動態を踏まえた健康影響)

V. 付帯事項又は今後の課題など